

2025年度(令和7年度)

消防吏員救助隊救助服仕様書

福山地区消防組合消防局

消防吏員救助隊救助服仕様書

この仕様書は、福山地区消防組合消防局（以下「消防局」という。）が発注する消防吏員救助隊救助服について定める。

1 総 則

- (1) 応札者は、応札前に本仕様書を熟知し応札すること。
- (2) 本仕様書の疑義については、消防局課員に質問し、協議のうえ、施行完成すること。細部については、消防局課員が別に指示することがあるが、本仕様書に記載されていない部分についても当然必要と認められる部分については良心的に施行すること。
なお、詳細については消防局で管理している見本を参照のこと。
- (3) 使用素材（表生地）の見本、表生地の出産メーカーの品質証明書並びに出荷引受証明書を、**2025年（令和7年）7月2日（水）**までに消防局総務課に提出し承認を得ること。
- (4) 製品完成の際は、消防局の検査を受け、手直しの必要がある場合は、協議のうえ日時を定め、その日時までにこれを完了すること。
なお、消防局の課員が製作中に検査を行う場合がある。
- (5) 製品は、1着ごとに良質な袋に入れ、氏名・サイズ等が容易に確認できるようにすること。
- (6) 本仕様書の解釈について疑問の点は、消防局と十分な協議を行うこと。
- (7) 採寸は着せ付け採寸とすること。

(8) 納入場所・納入方法 消防局総務課・搬入

(9) 納入期限 2025年（令和7年）12月26日（金）

(10) 数 量	上 衣	65着
	ズボン	66着

(11) 納入後、サイズ等の修正が発生した場合は速やかに対応すること。

2 型式

(1) 上衣

縫製：前身頃・後身頃・脇身頃及び、前袖・後袖・下袖・袖山及びヨーク続きからなる立体裁断及び立体縫製。長袖型。

前合わせ：ファスナー止（衿先までファスナー式・丸環つまみ付）

胸ポケット：ファスナー開閉玉縁アウトポケット（黒革つまみ付）

袖口：ファスナー開閉式カフス仕立て

脇下ベンチレーション

左肩：警笛ループ付き

(2) ズボン

縫製：前身頃・後身頃・脇身頃・内股部からなる立体裁断及び立体縫製。長ズボン型。裾口絞り用フラップ付

脇ポケット：ファスナー開閉玉縁アウトポケット（黒革つまみ付）

前あわせ：ファスナー式、前カン式。

3 使用材料については、次表または同等品以上とすること。

(1) 厚手

項 目	規 格
色 相	オレンジ 消防局指定色（現行品と近似色とする）
混 紡 率	アラミド70%以上 難燃性を有すること
染 色	アラミドは原液着色
糸 番 手	タテ 40/2 ヨコ 40/1+167dtex JIS L 1096A
組 織	2/1 綾織 JIS L 1096A
密 度	80本×65本以上（1インチ間） JIS L 1096A
質 量	220±20g/m ² JIS L 1096A
引 張 強 度	タテ 1280N 以上 ヨコ 1000N 以上 JIS L 1096A 法
引 裂 強 度	タテ 48N 以上 ヨコ 34N 以上 JIS L 1096D 法
寸法変化率	タテ、ヨコとも ±3%以下 JIS L 1096G 法 吊干し
制 電 性	7μC/m ² 以下 JIS L 1094C 法
染色堅牢度	洗濯（変・汚） 4級以上 摩擦（乾） 4級以上 汗（酸）（アルカリ） 4級以上 JIS L 0844A-2 法 JIS L 0849 II 形法 JIS L 0848
ストレッチ性	12%以上 JIS L 1096B 法

(2) 薄手

項 目	規 格
色 相	オレンジ 消防局指定色（現行品と近似色とする）
混 紡 率	アラミド70%以上 難燃性を有すること。ポリウレタン不使用のこと。
染 色	アラミドは原液着色
糸 番 手	タテ 40/2 ヨコ 40/1+167dtex JIS L 1096A
組 織	平織 JIS L 1096A
密 度	73本×50本以上（1インチ間） JIS L 1096A
質 量	180±15g/m ² JIS L 1096A
引 張 強 度	タテ 1000N 以上 ヨコ 820N 以上 JIS L 1096A 法
引 裂 強 度	タテ 43N 以上 ヨコ 28N 以上 JIS L 1096D 法
寸法変化率	タテ、ヨコとも ±3%以下 JIS L 1096G 法 吊干し
制 電 性	7 μC/m ² 以下 JIS L 1094C 法
染色堅牢度	洗濯（変・汚） 4級以上 摩擦（乾） 4級以上 汗（酸）（アルカリ） 4級以上 JIS L 0844A-2 法 JIS L 0849 II 形法 JIS L 0848
ストレッチ性	12%以上 JIS L 1096B 法

4 縫製条件

(1) 針数

針目数は3cm間に地縫い・飾り縫いは10針以上、オーバーロックは8針以上とすること。

(2) 穴かがり

ネムリ穴とすること。

(3) 裁縫

糸調子は上下共、ツレ・タルミのないようにし返し針を完全にすること。裁縫糸は同色のアラミド糸を使用し、糸始末は丁寧に行うこと。

(4) デザイン

立体構造のものとする。

5 縫製要領

(1) 衿

ア 衿裏には山刺しを施すこと。

イ 衿台として中央で幅約 3.5 cm の衿腰を切り替えしに付け、腰刺しを施す。

(2) 身頃

ア 前中心は、YKK-5番／直径2.5cmの丸環付ファスナーを衿先から身頃にかけて挟み

- 縫いする。下部には閉止めを施す。前身頃のファスナー開口部は、左右とも端に芯糸を入れる。
- イ 幅約2.5cm・長さ約4cmの階級章取り付け用面テープ・個人名札取り付け用面テープ(オレンジ色)を左右胸ポケット上部押さえ縫い線から約1cm上部に縫い付けること。
- ウ 左右前身頃(胸部分)適宜の位置に縦2.5cm 横6cm(有効5cm)のマイクフックを縫い付ける。詳細については別途指示する。
- エ 脇・肩縫いは、地縫い後片倒し、一条飾り縫いを施すこと。
- オ 裾はシャツ型とし三つ折り縫いとする。
- カ 前身頃刺し子は、胸ポケット下端から前身頃にかけて表生地を2枚重ねし、刺し幅1.5cmの刺し子を入れること。
- キ 背ヨーク部二重刺縫は、消防局が指定する背文字「福山消防／HIROSHIMA」を、背面図のとおり青色でプリントすること。
- ク 左胸(上記イ記載面テープの上部)に「福山地区消防局」と青色にて刺繍を施す。また、救助服共生地で作成した個人名札を上衣1着につき1枚付属すること。
- ケ 脇身頃下側布と下袖布を縫い合わせ、脇部下部にベンチレーションを設ける。
- コ 左身頃身返し部にペン差し及び警笛ポケットを設ける。

(3)袖

- ア 4枚のハギ及びヨークからの続き袖にて構成される構造とし、肩部分には、表生地を2枚重ね、幅約1.5cmの刺子を入れる(刺子箇所は概要図の通り)。
- イ 袖縫いはインターロック・片倒し、一条飾り縫いを施すこと。
- ウ 袖口は両玉縁、YKK-4番、約17cmのファスナーで開閉するものとし、接着芯を貼ったカフス式(カフス幅約6cm)とする。開き口にはカフス先端から開き止まりまで水かきを付け、ファスナーを表地と水かきに挟み縫いする。水かき端部は約0.5cmの三つ折り縫いとする。
- エ 肘当てとして、表生地を2枚重ね、刺し幅1.5cmの刺子を入れた当て布を二条縫いで縫い付ける。当て布には運動性を良くするためにダーツを設ける。
- オ 左袖に消防局が指定するエンブレム取り付け用面テープを縫い付けること。

(4)胸ポケット

- ア 左右身頃にアウトポケットを各1箇所二条縫いで縫い付けること。
- イ ポケット口は両玉縁、口幅約14cmとし、黒革つまみ付ファスナーを一条縫いで縫い付けること。
- ウ ファスナー開閉方向は外閉めとする。
- エ ポケット底は角落としとすること(概要図参照)。

(5)その他

- ア 左肩適宜の位置に警笛用ループを取り付ける。詳細は消防局担当者と打合せを行うこと。
- イ 片布は所定のものを上前胸ポケット裏面中央に縫い付けること。

6 ズボン縫製要領

(1)身頃

- ア 前身頃3枚ハギ、後身頃2枚ハギ、脇身頃及び内股部各2枚ハギで構成された構造とする。前身頃・後身頃・脇身頃及び内股部の上部及び膝当て部は表生地を2枚重ねし、幅約1.5cm

の刺子を入れる(刺子箇所は概要図の通り)。

イ 脇・尻・内股縫いは、インターロック、片倒し一条飾り縫いを施す。

(2) ポケット

ア 左右に各 1 個、アウトポケットを縫い付け、風きん部分は一枚裁ちとする。

イ ポケット付け位置は消防局担当者と打合せを行うこと。

ウ ポケット口は両玉縁とし、口幅18cm(±1cm)、斜め式とする。

エ 黒革付ファスナー開閉式とし、ファスナーは閉じて尻側とする。

(3) 前合わせ及びシック

ア 前合わせは前カン及びファスナー式とし、ファスナー止まり下部に門止めを施すこと。

イ 棒シックは、幅約2.5cm・長さ14cmのものを取付けること。

(4) ウエスト

ア 帯幅は4cmとし、表地裏に接着付きベルト芯を貼り内側は腰裏マーベルトを縫い付けること。

イ ベルト通しは有効長6cmとし、位置は後中央に1本、左右に各2本の計5本としベルト上端から約1cm下に上部は袋付け、下部は二条縫いで縫い付け両端に門止めを施すこと。

ウ 前端上ベルト部分は直径2cmの釦止め式とすること。

(5) 裾口

ア 折り返し幅約4cmの三つ折りで縫い押さえる。

イ 絞り調整用の裾フラップ、及び面ファスナーを取り付ける。詳細は消防局担当者と打合せを行うこと。

(6) その他

片布は所定のものを縫い付けること。

7 背面文字、片布および概要図

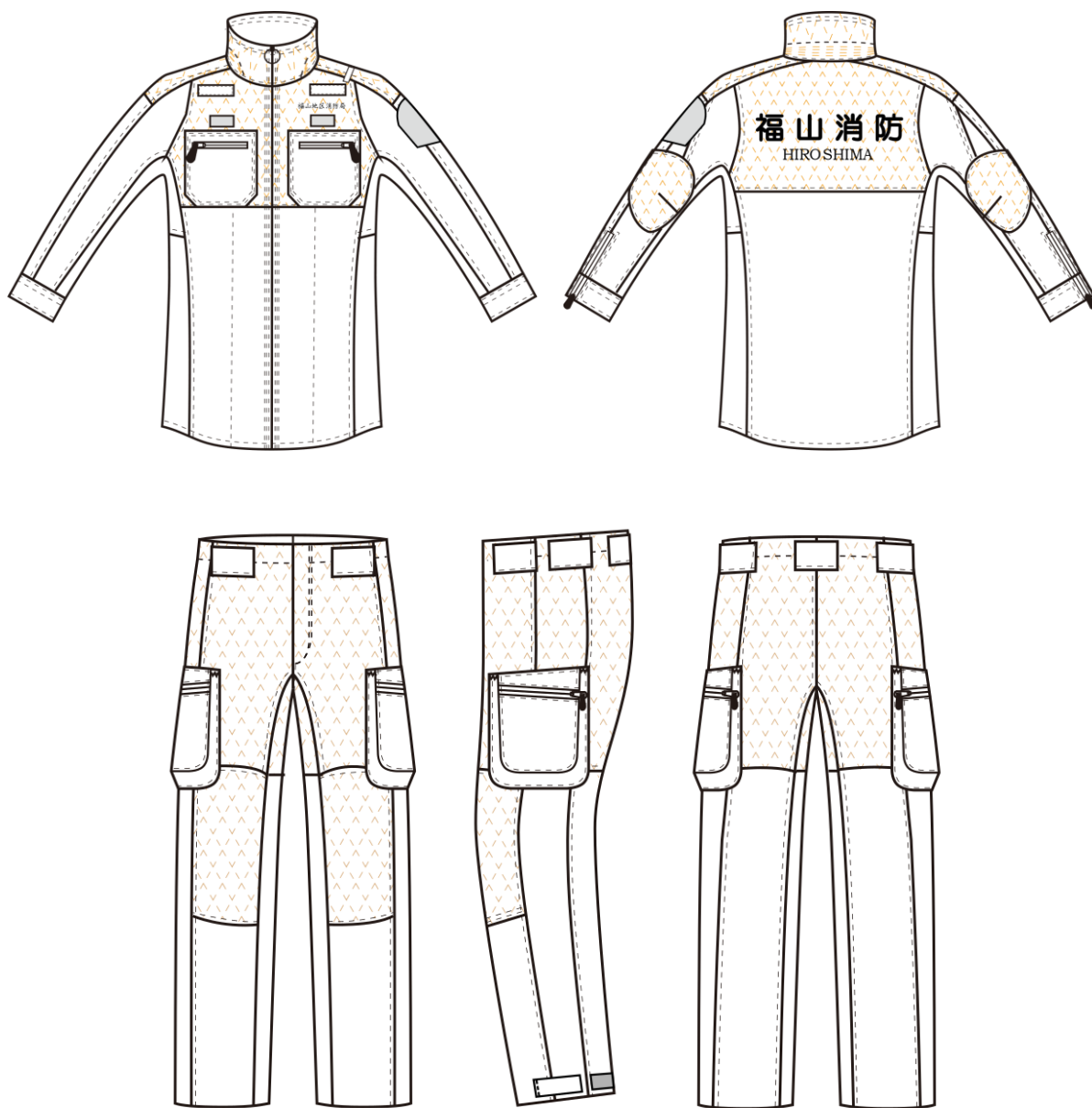
(1) 背面文字

福 山 消 防
HIROSHIMA

(2) 片布

← 7.0cm →		
福 山 消 防		↑
所 属		5.0cm
氏 名		
血 液 型		
調整年月	年 月 製	
納入業者		

(3) 概要図



8 サイズ表

(1)上 衣

(cm)

サイズ	着丈	胸囲	胴囲	裾丈
SS	73～75	97～102	95	77
S	73～75	101～106	99	79
M	75～77	105～110	103	81
L	77～79	111～116	109	84
LL	79～82	117～122	115	86
3L	81～83	123～128	121	89
4L	81～86	129～134	127	91
5L	81～88	135～140	133	94

(2)ズボン

(cm)

サイズ	ウエスト	ヒップ	渡り幅
SS	71	96	32
S	75	100	33
M	79	104	34
L	83	108	36
LL	87	112	37
3L	91	116	38
4L	95	120	40
5L	99	124	41